

Discovery H. S. Kanzaki

2019. 11. 27
第445号
兵庫県立神崎高等学校



ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ

夢を発見し実現できる学校

ボランティア活動 in Nagano



昨年度は、岡山県真備地区の災害復興ボランティア活動を実施、本年度は、長野県で実施しました。実施日は、11月16日(土)で、今回のボランティア活動は神河町の協力も得て、社会福祉協議会が実施したものです。一般の方も2名、社協職員も2名参加され、総勢15名で参加しました。本校からは、職員2名と生徒9名(男子6名、女子3名)です。場所は、長野市大字穂保地区です。この地域は、千曲川の決壊した場所であり浸水被害が最も酷かった場所です。当日の作業は、男子が風呂焚きで使用されていた薪の廃棄処分、女子は家屋

の建具や床の清掃作業を担当した。作業時間は、9時30分から15時までです。少しでも早く日常を取り戻せるように、生徒は休憩時間も惜しんで作業を行ってくれました。尚、10月には街頭募金活動で8万5千円程度を集め募金しました。



神戸マラソン ボランティア参加

11月17日(日)に神戸市で開催された第9回神戸マラソンにボランティアとして参加しました。参加したのは、3年生のスポーツコミュニケーション履修者の生徒たちです。当日は晩秋とは思えない暖かな陽気に包まれ、絶

好のマラソン日和のなか、約2万人のランナーが港町神戸を駆け抜けました。私たちの担当は「自主走路員・歩道橋誘導員・距離表示」など様々な場所で活動をしました。35キロ地点がランナーにとつては一番苦しいポイントということもあり、ランナーへの応援も声をからしながら全力で行いました。生徒たちはスポーツを「支える」経験を通して、新たな価値観に気付くことができたと思います



コミュニケーション講座

11月15日(金)、兵庫県立ピッコロ劇団による、コミュニケーション講座が開催されました。



それぞれのクラスで各二時間、柔道場にお二人の講師を迎えて講座は始まりました。生徒たちは、初めから積極的に参加し、劇団の方と元氣よく活動し、笑顔や笑い声があふれました。初めは、二人のジャンケンから最後はグループでの演劇発表まで。楽しみながら、自然に、少数から大人数の中でのコミュニケーションが進んでいきました。演劇発表会では、静止した役者のポーズと配置で一つのテーマを表現しました。発表を完成する上で、主張するよりも他人の意見に傾聴し、調整する力が必要であると教えていただきました。

ちょっと一言

◇神崎高校は、「社会で必要とされる人材」の育成に真剣に取り組んでいる学校です。そのために大切にしていることは、「奉仕の心で生きる」ことです。奉仕の心とは、人やものの心を大切にすることです。この「心づかい」を成長させる場として、様々な活動に参加する機会を学校生活の中で用意しています。とはいっても、心づかいが最も育つ場所は家庭です。特に「和のある家庭」で健全に育つものです。皆様のご理解とご協力をお願いします。ともに手を取り合って育みましょう。(N. A.)

・「神崎夢実現プロジェクト」

・部活動「外部指導者」・「神高部活動基金」

を募集しています。

詳しくは神崎高校へご連絡
いただくか、ホームページを
ご覧ください。

